お伊勢さまと氏神さま・鎮守さまのお神札をおまつりしましょう

❖ 伊勢神宮のご祭神

伊勢の神宮には皇祖（皇室のご祖先の神）天照大御神さまがまつられ、大御祖神さま、総氏神さまのようなご存在として、皇室を始め国民からの篤い崇敬が寄せられてきました。

日本書紀にも伝えられる、天照大御神さまが仰せられた三大神勅、「天壌無窮の神勅」「宝鏡奉斎の神勅」「斎庭稲穂の神勅」のままに大御神さまをおまつりし、国の隆昌・国民の幸せ・五穀豊穣が祈念され続けています。

私たち日本人はこの祈りを大切にし、三大神勅のままに、神代から脈々と続く日本の国は、世界に誇る歴史と文化を有する国として、発展してまいりました。

伊勢の神宮に参拝することを「参宮」または「お伊勢参り」といいます。古くから「一生に一度はお伊勢参り」といわれ、人々が憧れを抱く最高の聖地として、古今を通じて全国各地より多くの方々が参拝に訪れています。

❖ 伊勢神宮のお神札

江戸時代までは神宮への祈祷を取り持った「御師」と呼ばれる人々が私邸において「お神楽」を執り行い、御師それぞれによる形式のお神札を全国各ご家庭に配札していました。これらは現在、内宮・外宮の神楽殿に引き継がれ、古のままに参宮の方々それぞれの祈りが捧げられています。

一方、明治5年4月1日、明治天皇の思し召しにより、国民が日々天照大御神さまを拝礼できるようにと、年間千数百回におよぶ「神宮祭祀」の尊い「しるし」として、大切な祈りを込めた「神宮大麻」が誕生いたしました。

神宮大麻　神宮中大麻　神宮大大麻

現在、神宮大麻は全国の神社を包括する神社本庁によって、全国の氏神さま・鎮守さまを通じて全家庭に頒布されています。これは、誇り高き日出ずる国日本で暮らす私たちが、神宮大麻をおまつりして日々の感謝を捧げられる証となっています。

お伊勢さま、氏神さま・鎮守さまのお神札をおまつりすることは長い歴史に培われた日本の伝統であり、神恩に感謝する美風ともいえます。氏神さま・鎮守さまと氏子の絆を重んじ、より良く豊かな日々を神々にお見守りいただきましょう。

❖ お神札のまつり方

横に並べてまつる場合

重ねてまつる場合

お神札は神棚におまつりすることが望ましいですが、神棚がない家庭では、ふさわしい場所にお神札の正面が南か東を向くようにおまつりするとよいでしょう。

氏神さま・鎮守さまの調べ方

各地域には町内や大字などに氏神さま、または鎮守さまと呼ばれる神社があり、各地域をお守りになっています。

神宮大麻は、毎年氏神さま・鎮守さまからお受けになるのが基本です。

神宮大麻と神宮暦の頒布について詳しくは、お近くの氏神さまや各都道府県にある神社庁におたずねください。

神社庁の連絡先は「神社本庁」のホームページより「神社本庁のご案内」→「神社庁一覧」をご覧ください。

〒五一六－〇〇二三
伊勢市宇治館町一
神宮司庁
☎〇五九六－二四－一一一一
https://www.isejingu.or.jp/

〒一五一－〇〇五三
渋谷区代々木一－一－二
神社本庁
全国神社総代会
☎〇三－三三七九－八〇一一
https://www.jinjahoncho.or.jp/